

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2021年12月)

【ポイント】

内政

- 8日、選挙裁判所は緊急検討法の一部廃止を求める国民投票に必要な署名が有効であることを確認した。同国民投票は2022年3月27日に実施予定。
- 16日、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイ政府が海洋監視船2隻購入のための入札を2022年に開始する予定であると発表。右は、ウルグアイの領海監視を強化するためであり、購入額は100百万ドルとされる。

外交

- 6日、ブスティージョ外務大臣はカフィエロ亜外務大臣との会談のため亜を訪問。同会談では、国境問題、衛生問題に加え、両国間で共有する河川資源の管理の重要性について意見交換を実施。
- ラカジェ・ポウ大統領及びブスティージョ外務大臣は、カタールを訪問、一連の経済・貿易協定、査免協定を含む複数の二国間協力に合意、署名を行った。同大統領は、両国間の関係強化及び投資誘致を訴えた。
- ウルグアイ政府は、ラテンアメリカ諸国で初となる EU 圏内入国時のデジタルワクチンパスポートを許可する協定を EU との間で締結。

経済

- 1日、ウルグアイ政府は500億円(442百万米ドル)分のサムライ債を発行した。今回の国債発行の主な目的は、①予測される負債利子額を減らすことでの2021年政府財政プログラム補完、②投資家の基盤拡大により財政源となる市場及び通貨の多様化実現、③日・ウルグアイ外交関係樹立100周年の機に日本との財政面での統合及び関係強化。
- 17日、第59回メルコスール首脳会議がオンラインで開催された。アルゼンチン、ブラジル及びパラグアイはウルグアイ抜きで共同声明を発出し、メルコスール内の分裂を際立たせる結果となった。
- 22日、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイ政府は二国間 FTA 署名に関するトルコ政府からの回答を受領し、調査を開始したと述べた。右調査により満足な結果が得られた場合、2022年3月からトルコとの二国間 FTA 締結に向けた作業を開始すると説明。

【本文】

1 内政

(1)観光客向け新型コロナウイルスワクチン

1日、政府は観光客向け新型コロナウイルスワクチン接種のアジェンダを発表した。同ワクチン

接種はファイザー製を予定しており、20万回分が用意される。また、同ワクチン接種は3回目のブースター接種を行う成人及び2回目のワクチン接種を行う12歳から17歳の者を主たる対象者としている。

(2) 緊急検討法(LUC)に係る国民投票実施の決定

8日、選挙裁判所は緊急検討法の一部廃止を求める国民投票に必要な署名が有効であることを確認した。同国民投票は2022年3月27日に実施予定。

(3) 林業法に対する拒否権の行使

カビルド・アビエルト党及び野党拡大戦線(FA)によって提案されていた林業法改正法案は、15日に上下両院で可決されたが、16日、ラカジェ・ポウ大統領はこれに対し、拒否権を行使した。

(4) 海洋監視船の入札

16日、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイ政府が海洋監視船2隻購入のための入札を2022年に開始する予定であると発表した。右は、ウルグアイの領海監視を強化するためのものであり、購入額は100百万ドルとされる。

(5) 入国7日後のPCR廃止

18日、当国厚生省は、入国者に対し、入国7日後にPCR検査を実施する要件を廃止する旨発表した。

2 外交

(1) 亜ウルグアイ外相会談

6～7日、ブスティージョ外務大臣はカフィエロ亜外務大臣との会談のため亜を訪問。同会談では、国境問題、衛生問題に加え、両国間で共有する河川資源の管理の重要性について意見交換を行った。また、両国の国際的な法的協力に関しても話し合われた。

(2) カタール訪問

10～14日、ラカジェ・ポウ大統領及びブスティージョ外務大臣は、カタールを訪問、一連の経済・貿易協定にスポーツ分野、教育分野及び査証免除にかかる協力を含む複数の二国間協定に合意、署名を行った。また、ラカジェ・ポウ大統領は、両国間の関係強化及び投資誘致を訴えた。

(3) コンゴ(民)訪問

23～26日、ラカジェ・ポウ大統領は、コンゴ(民)を訪問し、PKO活動に参加するウルグアイ軍とのクリスマスを過ごした。同訪問には、ガルシア国防大臣も同行。

(4) ウルグアイ政府及びEU間におけるデジタルワクチンパスポートに関する合意

ウルグアイ政府は、ラテンアメリカ諸国で初となるEU圏内入国時のデジタルワクチンパスポートを許可する協定をEUとの間で締結した。右取極により、ウルグアイ人はヨーロッパ圏内へ入国する際、ワクチンパスポートを印刷して紙媒体で提示する代わりに、QRコードを用いてワクチンを接種済みである証明を行うことが可能となる。現時点での右極は、ファイザー社ワクチンを少なくとも2回接種済みである場合に適用されるが、コロナバックやその他の米国製薬会社による3回目のブースター接種を受けた者に対しては適用されない。一部の国では、中国製ワクチン接種者の入

国を認めているが、本協定では認められていない。

3 経済

(1) サムライ債発行

1日、ウルグアイ政府は500億円(442百万米ドル)分のサムライ債を発行した。経済財務省の発表によると、今回発行されたサムライ債の平均年利率は0.71%、償還期限は3年から15年で、全体の74%が3年建て、23%が15年建て、残りは5年、7年、10年建てに振り分けられる。19の投資家のうち大半が国際協力銀行(JBIC)を含む日本の投資家であり、発行に際しては大和証券及び野村証券がウルグアイ政府に助言を行う。今回、ウルグアイ政府は国際協力銀行(JBIC)の保障なしに日本の債権市場での国債発行に至り、メキシコに次いで、ここ20年間でJBICの保障なしに日本で債権を発行したラテンアメリカ地域で2番目の国となった。

同省によると、今回の国債発行の主な目的は、①予測される負債利子額を減らすことでの2021年政府財政プログラム補完、②投資家の基盤拡大により財政源となる市場及び通貨の多様化実現、③日・ウルグアイ外交関係樹立100周年の機に日本との財政面での統合及び関係強化とされている。

(2) 格付け

15日、格付け会社 Fitch & Ratings 社は、財政状況及び政府の財政政策改善に鑑み、ウルグアイの投資適格格付けを「BBB-」で維持、経済見通しを「ネガティブ」から「安定」に修正した。

(3) 第59回メルコスール首脳会議

17日、第59回メルコスール首脳会議がオンラインで開催され、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイの方向性について説明しつつ、全加盟国が納得できる結論に至らなければならないと主張した。更に、ウルグアイはメルコスールに対して楽観的であり、継続的な貿易開放を主張すべきである点を強調した。ウルグアイは、メルコスールの柔軟化なくして対外共通関税の引き下げを受け入れることに対し頑なに反対の姿勢を示した。その結果、同17日、アルゼンチン、ブラジル及びパラグアイはウルグアイ抜きで共同声明を発出し、メルコスール内の分裂を際立たせる結果となった。

(4) 公共料金

21日、政府は2022年1月から適応される公共料金に関し、インフレ状況を反映させた上で、電話料金は現状価格据え置き、電力料金は3.5%増、水道料金は6%増とする旨発表した。

(5) トルコとの FTA 交渉開始に向けた動き

22日、ラカジェ・ポウ大統領はテレビ番組「Telenoche」(カナル4)のインタビューにて、ウルグアイ政府は二国間 FTA に関するトルコ政府からの回答を受領し、調査を開始したと述べた。また、右調査により満足な結果が得られた場合、2022年3月からトルコとの二国間 FTA 締結に向けた作業を開始すると説明し、(ウルグアイが二国間 FTA を検討しているのは)「中国だけではない」点を強調した。更に、米国との二国間 FTA 締結の可能性について問われると、右は皆が夢見ること(el sueño del pibe)だろうと回答した。また中国との二国間 FTA 締結交渉開始に向けた動きに

関し、現在進めているのは事前フィージビリティスタディ(prefactibilidad)ではなくフィージビリティスタディ(factibilidad)であると説明し、当初12月に完了すると想定していた右調査の期限をもう少し延長すると述べた。

23日、ブスティーゴ外務大臣は記者会見にてトルコとの二国間 FTA については既にメルコスール加盟国に報告済みであり、メルコスール域内では思いがけない知らせではないと説明した。また、全加盟国との間で引き続き非常に良い関係を維持しているが、多くの点において合意している一方で方針に差異が生じている部分もあるため、メルコスール・ブロックでの交渉となると速度が落ちてしまうと述べた。また、トルコとの二国間 FTA 交渉開始に向けた現在の動きに関し、ウルグアイ政府がトルコ政府に対し発出した将来的な協定に関する公式な書簡及び内容に対し、12月6日、トルコ政府から直ちに FTA 交渉を開始するために内容に関する意見交換の実施を提案する旨回答があったと説明した。

(6) 製造業生産活動指数

国家統計院(INE)の発表によると、10月の製造業の対前年同月比は6.9%増、国営燃料公社(ANCAP)を除いた場合は5.9%増と、2020年前半の落ち込みから急速に回復する傾向を示した。

4 要人往来

(1) 往訪

- 11月28日～12月7日、ビエラ観光大臣のドバイ万博訪問
- 6日～7日、アルベレチェ経済財務大臣のコロンビア訪問
- 6日～7日、アチェ外務次官のチリ訪問
- 6日～7日、ブスティーゴ外務大臣の亜訪問
- 10日～14日、ラカジェ・ポウ大統領及びブスティーゴ外務大臣のカタール訪問
- 14日～17日、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣のブラジル訪問
- 16日～17日、ヘベル内務大臣のパラグアイ訪問
- 21日～23日、サリーナス厚生大臣のアルゼンチン訪問
- 23日～26日、ラカジェ・ポウ大統領及びガルシア国防大臣のコンゴ(民)訪問

(2) 来訪

特記事項なし。